



発行 厚木市農業協同組合
厚木市水引 2-9-2
☎046(221)1666(代)

<https://www.ja-atsugi.or.jp/>

JAあつぎ 検索

2025 国際協同組合年



▲JAあつぎ
ホームページ



▲JAあつぎ公式



▲夢未市



▲グリーンセンター



▲JAあつぎ公式
「ゆめみちゃんねる」



▲夢未市



～食と農の未来を考える～

私たちの食卓を みんなで守ろう!



JAあつぎ
代表理事組合長
おおや かずと
大矢 和人

国際情勢や自然災害など、環境が目まぐるしく変化する中、私たちの「食」、さらには食を支える「農」にもさまざまな影響を及ぼし、不安が広がっています。

「食」は私たちの生活の基盤です。その食料を作る生産者は、安全・安心な農畜産物を供給するため、環境の変化に対応しながら日々農業に従事しています。そしてJAは、生産者と消費者を結ぶ架け橋として、さまざまな取り組みを進めています。

食と農の未来を考える上で今必要なことは何でしょうか。それは、育てる人、売る人、買う人それぞれが互いを理解し、支え合うことが大切です。そうした一人一人の取り組みが、食卓を守る第一歩となります。

日本の食と農はこんなリスクに直面

さまざまな要因によって日本の食と農の未来が問われています。
日本全体での課題やリスクはもちろん、地域によっても多様な課題を抱えています。

食料自給率
の低迷



食料の多くを輸入
に頼り続けている

農業生産力
の弱体化



生産者の減少と高齢化、
農地の減少が進む

多発する
自然災害



多くの災害が世界と
日本の農業にダメージ

世界的な
人口増加



世界の人口増加に
よる食料不足

国際化の
進展



輸入増加で食料自給率
低下の可能性がある

生産資材の
価格高騰



資材や燃料の高騰で
経営が圧迫される

売る人



直売所

買う人



消費者

育てる人



生産者

問題

耕作放棄地・遊休農地の発生

生産者の高齢化や後継者不足などによって、耕作放棄地・遊休農地が管内でも発生しています。

農地のマッチングや作付け提案など、耕作放棄地・遊休農地を有効活用する取り組みを進めています。



厚木市都市農業支援センター
センター長 清水 太一

問題

農畜産物の価格上昇

不安定な国際情勢や猛暑などの環境変化によって生産コストが上がり、農畜産物の価格が上がっています。

環境に対応した作物・品種の選定や、資材なども工夫し、安定した供給に向けて力を尽くしています。



生産者 霜島 邦夫さん

農畜産物が食卓に届くまでの流れ、生産者やJA、消費者の役割を知って、食と農の未来を考えよう!



JAあつぎ
マスコットキャラクター
ゆめみちゃん

次のページをチェック!>>



私たちの食卓をみんなで守ろう!

密接な関わりを持つ食と農。私たちの食を守るということは、食を生み出す農も同時に守っていかなければなりません。価格も安い方が良くいけれど、さまざまな要因から生産コストが上がっている今、それだけでは農家の暮らしが立ち行かなくなります。JAあつぎでは、生産者のサポートや消費者への食料安定供給に向け、さまざまな取り組みを行っています。持続可能な食と農について、つながりや取り組みと一緒に学んでみましょう。



食品の価格の裏側をのぞいてみよう

普段手に取っている食品の裏側には、生産にかかる手間やコスト、思いが込められています。食と農について理解を深め、食品の適正な価格について一緒に考えてみましょう。



▲「値段のないスーパーマーケット」WEB体験版（農林水産省）

動画で見る食と農のつながり

育てる人、売る人、買う人の実際の声を聞いてみましょう。それぞれの工夫や取り組みが、食と農を守る力につながっています。

▲動画はこちら

動画を見てさらに学びを深めよう!



生産者



消費者の皆さんにおいしいと思ってもらえる品質の高い農産物の生産に努めています。近年は、生産資材価格の高騰や猛暑による障害など、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、JAとも連携を図り、消費者の皆さんの喜ぶ姿を思い浮かべながら日々農業に励んでいます。

生産者 霜島 邦夫さん

生産者の日々の栽培管理

天候 病害虫 鳥獣害

生産量や品質に影響するリスク

良質な農産物の生産には、多くの労力がかかっています。特に、天候はコントロールできるものではなく、栽培管理に加えて病害虫防除や鳥獣被害対策など、植え付けから収穫までにはたくさんの苦労があります。

設備・資材など

生産資材 機械設備 燃油

さまざまなコストが発生

不安定な国際情勢によって肥料や農業、燃油などが高騰し、農畜産物の生産には以前の数倍ものコストがかかっています。併せて、規模拡大や作業の効率化などには、設備への投資も必要となります。

荷作りをし、価格も自身で決めて直売所に出荷

JAの営農支援

営農指導 情報提供 商品提案

地域農業振興に向けたサポート

JAでは、各地区に営農指導員を配置し、作付け提案やコスト低減に向けた対策を促すなど、農家所得の向上と農業生産力の拡大へ取り組みを進めています。また、講習会なども開催し、積極的な情報発信を行うほか、JAのスケールメリットを生かした価格設定で、必要とする商品の提案なども行っています。



直売所



直売所ならではの魅力・価値

新鮮 安全安心 交流

採れたての新鮮な農畜産物が並び直売所。生産者と消費者を結ぶ架け橋として、重要な役割を担っています。それぞれの商品には生産者の名前が入っており、顔が見えることは安心にもつながります。また、生産者と一体となった店舗づくりを進めることで、消費者との交流の機会も多いのが特徴です。

連携協力

地場産食材を求めて直売所を訪問

生産者が丹精込めて育てた農畜産物を販売しています。季節ごとに旬の食材が並び店内はいつも活気に満ちあふれ、消費者の皆さんにも選ぶ、買うといった楽しさを提供できるよう、魅力的な店舗づくりを進めています。これからは国産・地産地消の推進を図っていきます。

夢来市店長 清田 陽平



夢来市

グリーンセンター

消費者



厚木市在住
本宮さんご家族

地元の新鮮な食材が手に入る直売所にはよく訪れます。店内には、生産者の方が書いたPOPがあり、特徴や食べ方などをいつも見ながら買い物をしています。やっぱり鮮度が良いものは一味も二味も違います。今後も、生産者など多くの人の努力があって食事ができることに感謝し、地元の農畜産物をたくさん食べて地域農業を応援していきたいです。

企業

大学

行政

連携協力

厚木市都市

農業支援センター

担い手育成 農地活用 6次産業化

持続可能な地域農業の確立

厚木市・厚木市農業委員会・JAあつぎで開設する厚木市都市農業支援センターでは、農業が抱える課題の解消と都市農業の維持・発展に向け、支援を強めています。管内では、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地・遊休農地の発生などが課題ですが、三者が連携して迅速な対応につなげています。その成果もあり、ここ10年間では新規就農者が82人誕生し、県内全域で経営耕地面積が減少する中、厚木市は増減率が0%となるなど、その成果が形となって表れています。



厚木市都市農業支援センター長 清水 太一 ▲詳しくはこちら

産学官連携

企業・大学・行政などが連携し、それぞれの組織が持つ知識や技術を組み合わせる新たな特産品や、地場農畜産物を使った商品開発などを進めています。

“ペピーノ”新たな特産へ



東京農業大学と厚木市、JAあつぎ、厚木商工会議所、㈱コジマホールディングスが協力し、南米原産の農産物「ペピーノ」を厚木市の新たなブランドにしようと取り組みを進めています。現在は商品開発も進み、JAあつぎ農産物直売所ではグミやサイダー、ジェラートなどの商品も販売しています。



南米原産のデザート野菜の秘密に迫ります!



▲ペピーノについてはこちらの動画をチェック!

JAの食農教育

食の大切さ、食を支える農の理解を広げたいこうと、生産者の方々と連携を図りながら、食農教育活動を展開しています。農業体験や料理講習会など取り組みは多岐にわたり、活動を通じて地域や地場農畜産物に愛着を持ってもらうなど、農業の応援団を増やしています。

食農教育担当 野田 奈緒



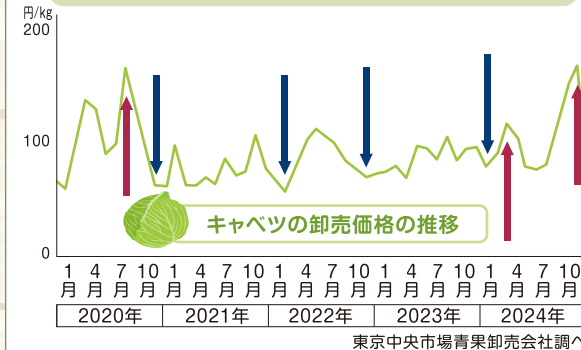
国産国産・地産地消を実践することで良いこといっぱい!

自給力アップで、いざというときに安心! 日本農業を食べて応援できる! おいしくて安全・安心な食事を実現! 輸出入で出るCO₂を減らし、SDGsに貢献!

事例 野菜の価格が変わりやすい理由

生産量や品質が天候に左右されやすく、保存が難しい。

天候による生育状況次第で価格が変動



東京中央市場青果卸売会社調べ

あつぎの農業を応援！

キャンペーン



～食と農の未来を考える～

私たちの食卓を みんなで守ろう！

キャンペーン開催中！ぜひご応募ください！

応募
期間

8月28日(木)～10月31日(金)

応募
内容

生産者への応援メッセージ、おすすめの地場農畜産物、好きな農畜産物を使ったわが家の料理のほか、本誌の中で特に印象に残ったことなどを教えてください！



キャンペーンの詳細内容や
応募方法は、JAあつぎ
ホームページをチェック！

好き！を共有して野菜や果物をPR♪
新鮮な農畜産物を買いに直売所にも
足を伸ばしてみてください！



今回の
プレゼント

あつぎの農産物
詰め合わせ ※写真はイメージです

合計 **30** 名様

応募方法と当選者数

10
名様

スタンプラリー

直売所でスタンプを押し、「農家さんへ
の応援メッセージ」を記入して店頭
の応募箱に投函または郵送して応募！

10
名様

Instagram

「#あつぎの農業を応援2025夏」を付
けて、推しの野菜や果物、好きな農畜産物
を使った料理などの写真を投稿して応募！

5
名様

応募フォーム

JAあつぎのホームページ内にある応募
フォームから、簡単なアンケートに答えて
応募！

5
名様

ハガキ

「JAあつぎコミュニティNo.49」または
「グリーンアートあつぎ9月号」の応募券
を貼って応募！

応募券

ハガキで応募の際は、
こちらの応募券を貼り
付けてください

〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を応援！キャンペーン係宛

JAあつぎ直売所スタンプラリー

夢来市・グリーンセンター・Tomoni内「夢来市出張販売所」・管内巡回の移動販売車「ゆめみちゃん号」のうち
1カ所を巡り、備え付けの「ゆめみちゃんスタンプ」と、農家さんへの応援メッセージを記入してご応募ください！



スタンプ欄

農家さんへの
応援メッセージ

【応募方法】

スタンプを押した当台紙を切り取り、任意の封筒にて郵送していただくか、夢来市・グリーンセンター・Tomoni内「夢来市出張販売所」に設置されている応募箱に投函してください。

【注意事項】

備え付けのスタンプは、必ず1カ所のスタンプを押し、農家さんへの応援メッセージを記入してご応募ください。

【個人情報について】

個人情報は、抽選、賞品発送に利用させていただきます。

【郵送の際の応募先】

〒243-0004 厚木市水引2-9-2 JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を応援！キャンペーン係宛

※郵送料についてはお客さまのご負担となりますのであらかじめご了承ください
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます

応募用紙

氏名			年齢	
郵便番号	〒 -			
住所				
電話番号				

JAあつぎの直売所ガイド



夢来市

☎ 厚木市温水255 ☎ 046-290-0141
 ⑨ 9時30分～17時
 ⑩ 毎月第3水曜日(3月・9月は第2水曜日、
 1月・8月・12月は除く)・1月1日～4日



グリーンセンター

☎ 厚木市三田1827-1 ☎ 046-241-6150
 ⑨ 9時30分～17時
 ⑩ 毎月第2水曜日(8月は第1水曜日、
 1月・5月は除く)・12月31日～1月4日



Tomoni内「夢来市出張販売所」

☎ 厚木市泉町3-13(厚木駅前農協会館1階)
 ⑨ 10時30分～14時
 ⑩ 土曜日・日曜日・祝日・夢来市休業日



☎ 住所 ☎ 電話番号 ⑨ 営業時間 ⑩ 休業日

お便り&プレゼントクイズコーナー

クイズ

厚木市の新たなブランドにしようと
取り組みを進めている南米原産の農産物とは？

答え：●●●● ※ヒントは誌面内にあります

締め切り

令和7年10月31日(金)

霜島農園のもち麦(白・紫)

抽選で5名様にプレゼント！

当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



応募方法

ハガキまたは FAX、ホーム
ページにて①～⑦の項目を記
載し、ご応募ください。

■ハガキ／右記の通り
 ■FAX／046-223-8814
 ■ホームページ／

<https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenpage/>

※ご記入いただいた個人情報は、抽選、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報として、マーケティング等に利用させていただきます

二次元コードを読み
取るとホームページの
応募フォームが表示
されます。



切手 243-0004

厚木市水引2-9-2

JAあつぎ総合企画部
コミュニティ係宛

- ①クイズの回答
 ②郵便番号・住所
 ③氏名
 ④年齢
 ⑤電話番号
 ⑥このコミュニティ
 誌に関する感想や
 取り上げてほしい内
 容など
 ⑦JAに対するご意見・
 ご要望など

※①～⑦すべてをご記入ください

編集後記

今回のJAあつぎコミュニティでは、育てる人、売る人、買う人の視点からそれぞれの取り組みや工夫、思いを紹介しました。環境の変化や資材の高騰など、現在の農業は多様な問題を抱えている中、安全・安心な農畜産物を届けるため、現場では日々努力が重ねられています。私たち一人一人の行動が大きなサポートにつながります。力を合わせ、支え合いながら温かい食卓を守っていきましょう。今回の「あつぎの農業を応援！キャンペーン」では、農家さんへの応援メッセージ、推しの野菜や果物、好きな農畜産物を使った料理などの写真を募集しています。8月31(日)に開催の「あつぎファーマーズフェスタに行こう!」のイベントにも、ぜひご参加ください！(岩永)